

醒めて起て!



実戦型能力開発研修

-創作ダンスの構造と機能を活用した能力覚醒プログラム-

「文武両道場・VCCプログラム」

—創造活動を通して、自分と向き合う—

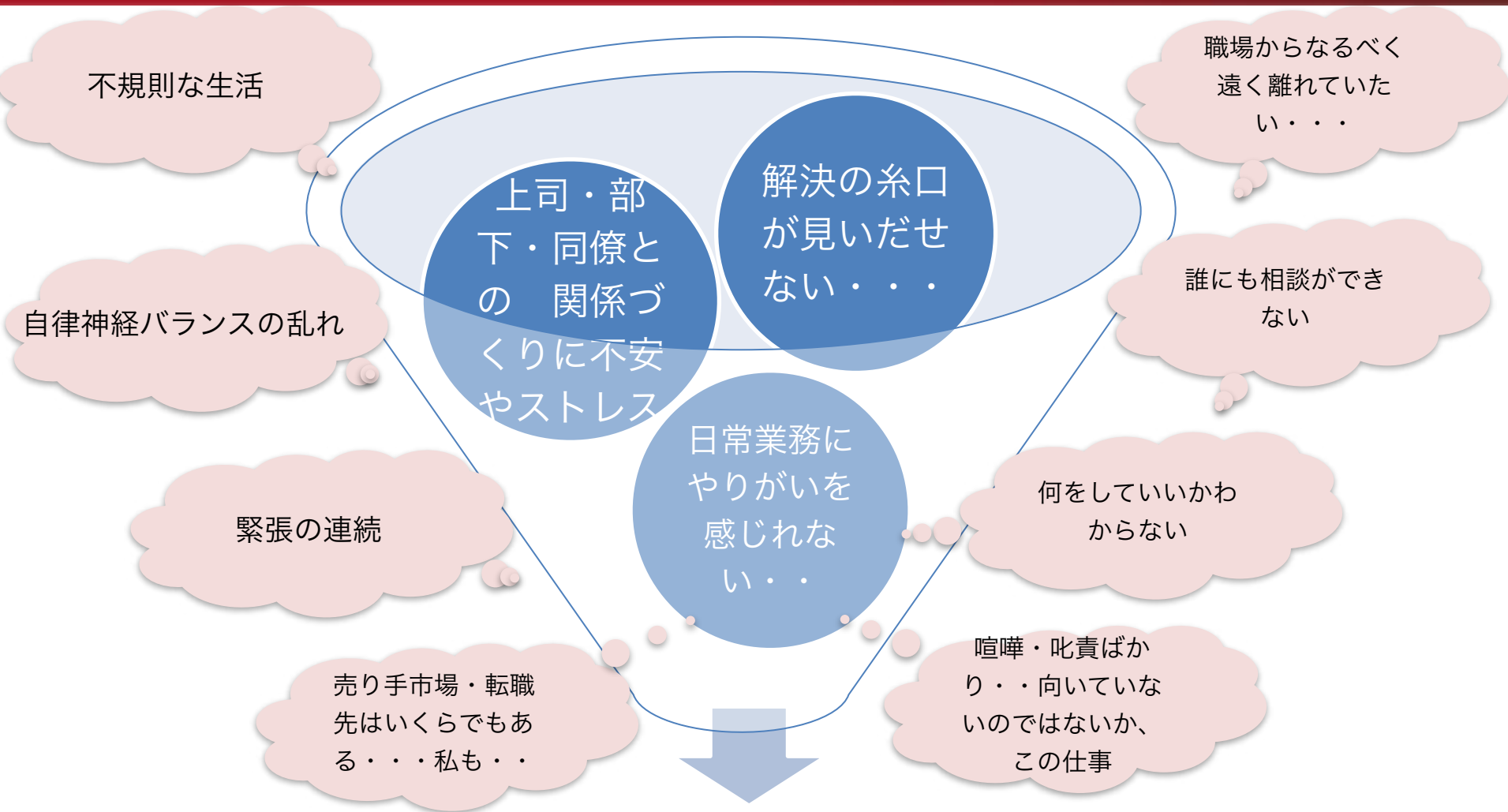
VCC=Value Co-Creation



株式会社Waisportsジャパン

筑波大学スポーツ環境デザインR&Dプロジェクト室

着目する問題



座学・バーチャルな既存研修ではフォローしきれない・・・

本当にコミュニケーションスタイルに変革が起きるプログラムが必要・・・

着目する課題

上層部は・・・

①社内環境（認識や設計）との 向き合い方を変えること

オペレーションマネジメント（安全の管理・統制）と
チームマネジメント（個の最大価値化）は、
根本（人と向き合う）は同じでも「目的」が異なり、
様相は異質である！

よって従来の「同一事項」という認識をチェンジすべし！

着目する課題

従業員は・・・

②自分との向き合い方を変えること

答えがない 或いは答えは複数。

目的、目標、課題、問題もない、すべてが無の状況から

他者と関わりながら何かを創造していく体験数が

圧倒的に少ない・・・よって

1) 人と何かを創造していくナレッジがない

2) 創造体験（企画・挑戦⇔成功・失敗等）から学習していく

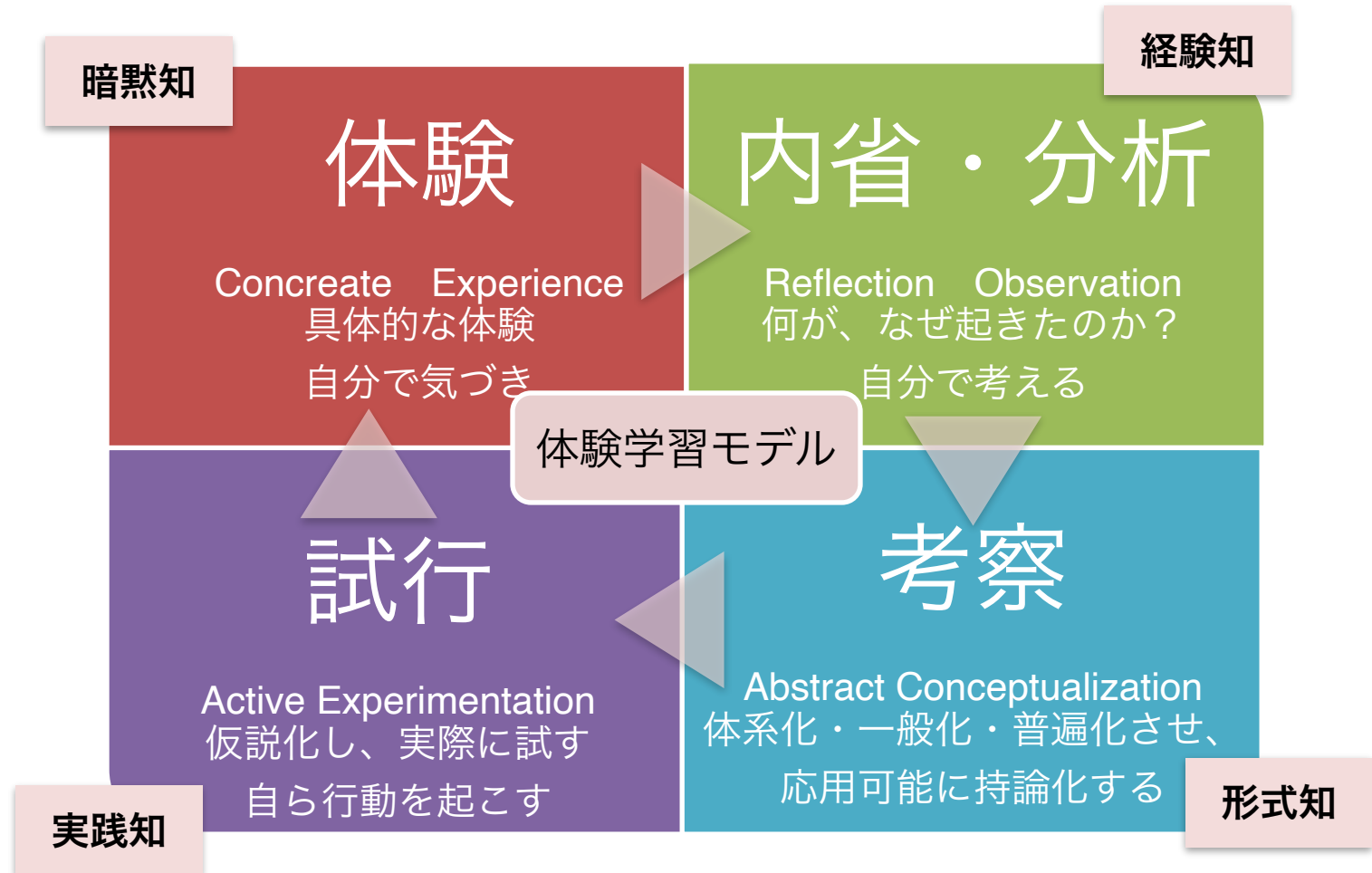
学習の仕方が身についてない、習慣となっていない。

こんな発掘・育成の「場」が必要？

- 「上下関係」「与える側と与えられる側」以外の「関係性」が要求される場
- リアル且つライブに自らのコミュニケーションスタイルを内省し、究明と探究のベクトルが自分にしかいかない場
- 実際に人と一緒に「究極の価値づくり」（身体性・消滅性・無形性・情緒性）をする場個性や主体性を発揮することが前提の「価値づくり」を体感する場
- 統合のための一様ではなく、多様であるための統合に高い価値があることを実感する場
- 自分一人では創り上げられない価値を実感する場
- 主体的であるかないかが表面化されてしまう場
- 自らが変わること、できることや見えてくる世界が変わってくる場
- 目的・目標が同じでも、イメージや価値観が異なり、その誤差を調整、統合していくプロセスを体感する場
- 存在しないものをゼロから創造し、共創で具体化していくプロセスを体感する場
- ひとつの発想、ひとつの回答だけではなく、いくつもの発想と回答の存在が価値を高めていくということの魅力を体感できる場

体験から学ぶ方法を学ぶ

社会人の能力開発は、殆どが日常の仕事の体験から生まれているといわれている。体験を通じた学びを知識習得の学習と区別し体験学習と呼ぶ。



組織行動学者D.Kolbのモデルと津村の体験学習モデルを独自に融合

創作ダンス（コンテンポラリーダンス）とは



型がなく **自由に自己表現**

- ダンス教室や学校教育で取り入れられる機会が増えている
- 「正解」はない！見る人によって解釈が異なる
- 想像力をかきたてられる
- 振り付けを与えられるのではなく、自分で探っていく
- 動きの中にさまざまな意味やストーリーを込めることができる
- 頭の中で思っていることを 体で表現



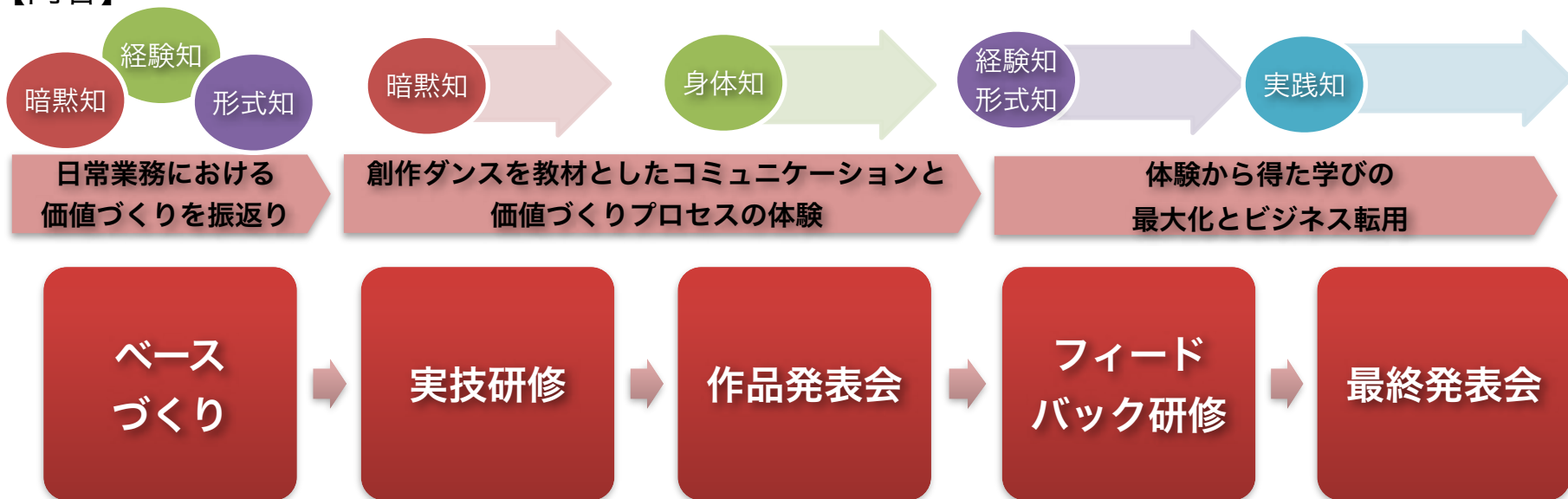
プログラム概要（目的/目標/内容）

【目的】 自己のコミュニケーションスタイルを知り、価値づくりを実践する実務シーンでの生産性を高めること。

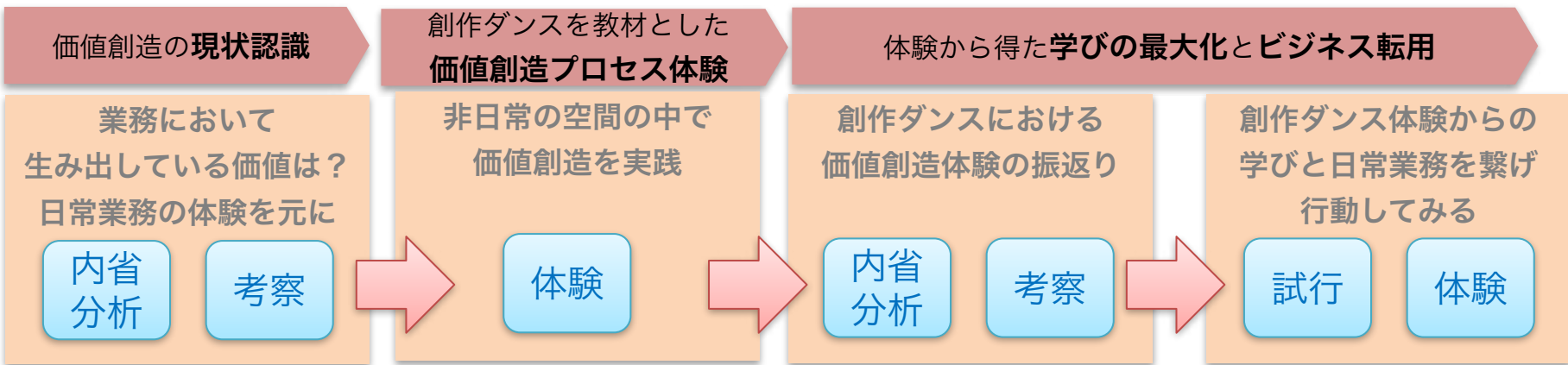
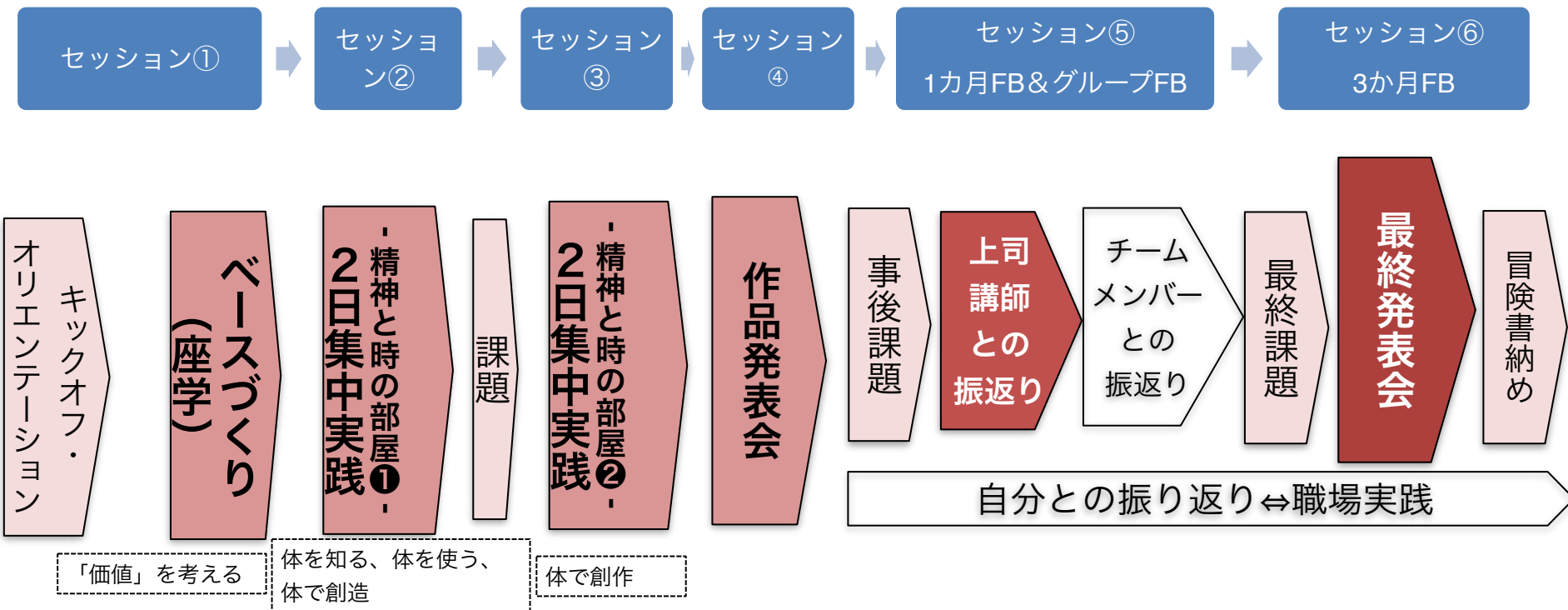
【目標】

- ① 他にはない唯一の価値を創り出すこと
- ② 自己のコミュニケーションスタイルを形式知化し、再度実践知化すること
- ③ デュアルタスク（自己の満足度と価値づくり）に関するMy哲学或いは格言をはじき出すこと

【内容】



プログラムを構成する6つのセッション



作品発表会コメンテータ

一倉宏様



一倉広告制作所代表 コピーライター、クリエイティブ・ディレクター

1978年、筑波大学第1学群卒業。

同年サントリー株式会社に入社。現在の宣伝事業部制作部にコピーライターとして勤務。8年半在籍。トリス新聞広告、モルツ新発売キャンペーンなどを担当。

1987年、仲畑広告制作所に移籍し3年在籍。ソニーやTOTOなどを担当。

1990年に独立し、赤坂に事務所を設立。同年には東京コピーライターズクラブが選ぶ最も優秀な広告賞であるTCCグランプリを受賞。

《有名なキャッチコピー》

サントリーモルツ「うまいんだな、これがっ。」、ANA「いい空は青い。」、JR東日本「行くぜ、東北。」

蓮見孝様



筑波大学・札幌市立大学 名誉教授

1971年 東京教育大学教育学部芸術学科工芸・工業デザイン専攻卒業。

同年、日産自動車入社。20年間にわたり勤務し、カーデザインに携わる。

1991年 筑波大学に転籍。専任講師、助教授を経て2000年から教授。芸術専門学群副学群長、広報戦略室長、学長補佐などを歴任。

2012年3月定年退職。同年4月、札幌市立大学理事長・学長に就任。6年間の任期満了後、

2018年4月より、筑波大学及び、札幌市立大学の名誉教授を務める。

《社会活動実績》

日本デザイン学会副会長・理事（1998-2015）、グッドデザイン賞審査委員（1995-2012）、JR東海デザイン委員（2014-現）、(財)日本サイクリング協会評議員（2003-現）等

石淵聡様



大東文化大学准教授 文学博士 （研究領域：身体表現の理論と実践）

学校の集団演技、コミュニケーションとしての身体、身体表現の可能性等をテーマとして理論と実践から探る研究をしている。

1996年発足のダンスグループ「コンドルズ」のメンバーとしても活動中。

著書「冒険する身体」は専門書としては異例のヒット。振付家としてTVCMマルハニチロ「ゼリーで0」なども手がける。NHK総合「サラリーマンNEO」内「テレビサラリーマン体操」のピアニスト。

《コンドルズの活動》

男性のみ学ラン姿でダンス、生演奏、人形劇、映像、コントを展開するダンス集団。世界20ヶ国以上で公演。

ニューヨークタイムズ紙絶賛。渋谷公会堂公演も即完超満員。東京スポーツ国体2013開会式式典演技の総演出も担当。

NHK連続テレビ小説「てっぺん」オープニング 振付出演。NHK紅白歌合戦出場。

講師兼開発者紹介（ダンス実技指導分野）



平山素子

ダンサー、振付家。筑波大学体育系准教授

幼少よりバレエを始め、筑波大学にて舞踊を専攻。
静謐さと昂揚を自在に奏でるダンサーとして観客の熱い支持を集め、2006年にスヴェトラーナ・ザハロワ（ポリショイ劇場バレエ団）に『Revelation』を提供以降、近年は振付家として意欲的に作品を発表。2007年『Life Casting』で朝日舞台芸術賞、2009年『春の祭典』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞。2016年スペイン・バスク地方やアイヌの伝承音楽を使用した『HYBRID』は欧州ツアーで好評を博し、新境地を拓く。2018年2月にはパーカッショニストの加藤訓子との共演でスティーヴ・ライヒの「ドラミング」にソロで挑む新作『DOPE』を初演。

2009年、ミュージカル『蜘蛛女のキス』振付

2018年、ミュージカル『ナイン・テイルズ 九尾狐の物語』（2018）振付

2012年、フジTV「オデッサの階段」出演

2016年、積水ハウスシャーウッドのCM出演

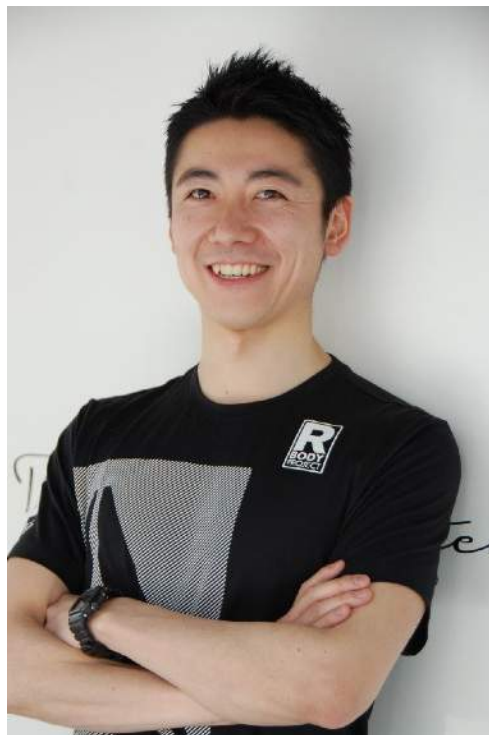
2010年～2013年ソウル国際ダンスコンクール審査員

2013年～2014年全日本バレエコンクールでのコンテンポラリー課題演技を振付指導

2014年～日本スケート連盟強化選手合宿にて「表現トレーニング」指導

シンクロナイズドスイミングやフィギュアスケートの日本代表選手の指導を手がけるなど、活動は多岐にわたる。

講師紹介（コンディショニング分野）



アスレティックトレーナー/ 株式会社R-body project 大浦 拓也

■経歴

東京柔道整復専門学校 非常勤講師（2018 - 現）

履正社医療スポーツ専門学校 非常勤講師（2018 - 現）

聖路加メディロークラス派遣トレーナー（2016 - 現）

星のや東京派遣トレーナー（2016 - 現）

R-body Academy Basic/Advance Course 終了（2012第5期）

クーパーコーチング サッカーキャンプ帯同トレーナー（2014）

■資格

米国NASM（ナショナルアカデミーオブスポーツメディスン）

公認パフォーマンスエンハンスメントスペシャリスト（NASM-PES）

FMS Instructor Level 1,2

オリエンテーション

講師兼開発者
平山素子先生



プログラムの
概要説明



自己紹介
意気込みを一言



精神と時の部屋①（初日）

平山素子先生による集中実践 『体を知る』

時に全員で
時にペアで
五感を研ぎ澄ます
トレーニング



参考動画

<https://youtu.be/da2q2tHb5iY>

精神と時の部屋①（2日目午前中）

アスレチックトレーナー R-body Project 鈴木岳さんによる講義・トレーニング

骨の構造上
実は腰は回らない！

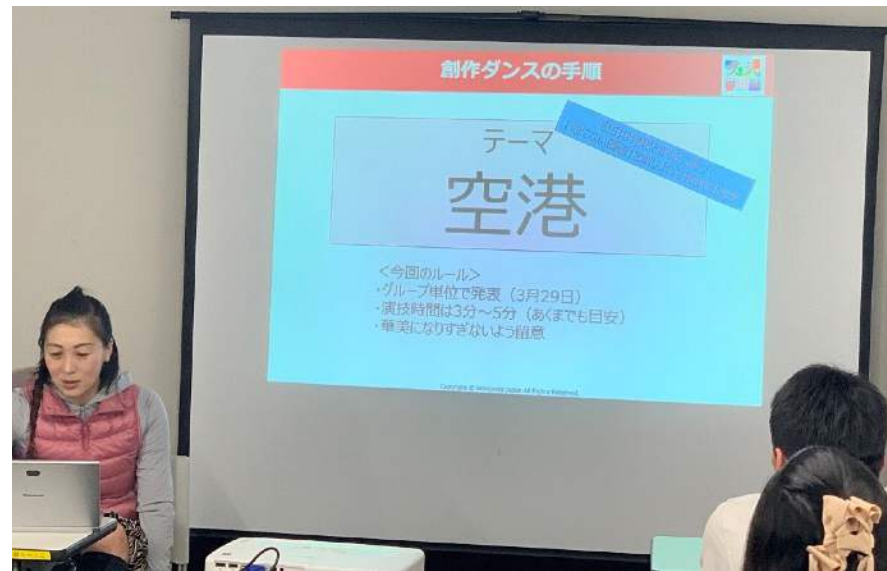


平山素子先生による集中実践 『体を使う』 『体で創造』



精神と時の部屋①（2日目午後）

平山先生による
講義



精神と時の部屋②（初日）

鈴木岳さんによるトレーニング



平山素子先生による全体ウォーミングアップの後
3日後に迫った発表会にむけたグループ練習



平山先生によるフィードバックに
先が真っ暗になるグループも・・・
発表会は3日後・・・



参考動画

<https://www.facebook.com/waisports/videos/429412211165750/>

精神と時の部屋② (2日目)

発表会を想定したリハーサル



作品発表会



作品発表会後の振り返り

ゲストコメンテータとのセッション



グループごとの振り返り



自分たちが表現しようとしたものと
観客が受け取ったものが違う・・・
なるほど・・・

3ヶ月フィードバック (最終発表会)

